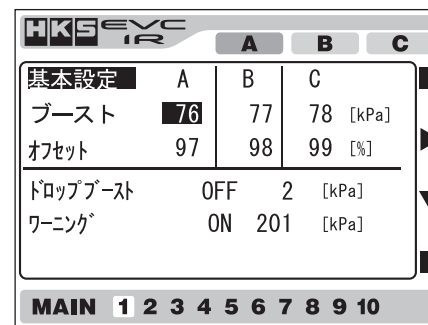


画面内項目の説明は本書11ページを参照してください。

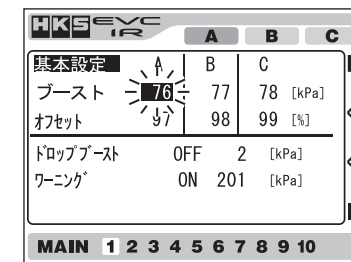
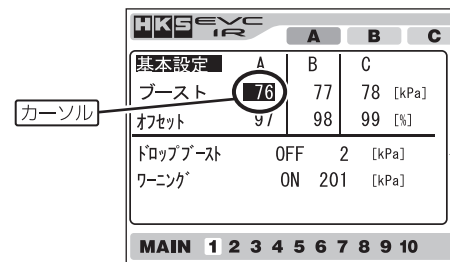
ボタン操作	働 き
ボタン①	スクランブル機能を作動させます。このボタンを押している間はスクランブル機能が継続されます。スクランブル時間が設定されている場合は、ボタンを離れた時からカウントが始まり、設定時間までの間スクランブル機能が継続されます。
ボタン②	A・B・C各ブーストモードを選択します。選択後、デジタル表示(小)に設定ブーストを2秒間表示します。1秒以上押し続けるとその時点でのブーストモードA・B・C、EVC機能のON/OFFの状態を保存します。
ボタン③	表示画面の明るさ調整を行います。設定した明るさに押しごとに変更します。(設定方法は本書36ページ)1秒以上押し続けるとピークホールド数字をリセットします。
ボタン④	短く押すと[ページ1]に移動し、1秒以上押し続けると[ページ10]に移動します。
ボタン①+②	ボタン②を押しながらボタン①を1秒以上押し続けるとEVC機能のON/OFFが切り替わります。EVC機能OFFの時には、EVC6-IRIによる制御を行わず、ノーマルブーストとなります。以降もその状態でご使用になる場合は、ボタン②を長押しして状態を保存してください。
ボタン②+③	ボタン②を押しながらボタン③を1秒以上押し続けると起動画像を表示します。EVC機能はバックグラウンドで働いています。

ブーストの設定を行います。



- ・ブースト
A～C各モードの目標ブースト圧を設定します。
- ・オフセット
A～C各モードの目標ブーストに対するズレを調整します。
- ・ドロップブースト
ワーニングが作動した時に降下させるブーストを設定します。
初期状態では、「OFF(ノーマルブーストへ下げる)」に設定されています。
- ・ワーニング
ここで設定した数値をサージタンク圧が超えると、ワーニングが作動します。
初期状態では、「ON」に設定されています。

- (1) ボタン②・③でカーソルを移動し、変更したい項目でボタン①を押すと数値入力モードに移行します。
- (2) 選択された項目でカーソルが点滅します。ボタン②・③で数値を変更し、ボタン①で決定します。

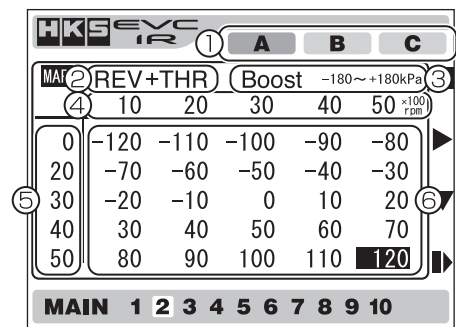


-数値入力モード-

- (3) [メイン画面]に戻ると変更がROMに保存されます。

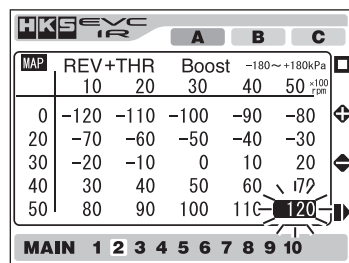
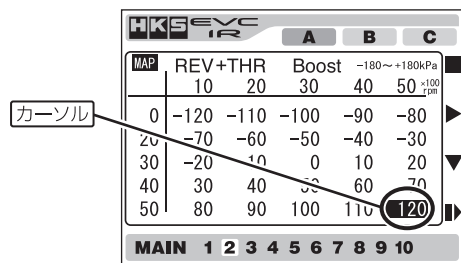
ボタン操作	働 き
ボタン①	各項目の数値入力モードへの移行、および項目の決定に使用します。
ボタン②	短く押すとカーソルが右移動、1秒以上押し続けるとカーソルが左移動します。数値入力モードでは数値の「+」方向に使用します。長押しで値が「+10」変化します。
ボタン③	短く押すとカーソルが下移動、1秒以上押し続けるとカーソルが上移動します。数値入力モードでは数値の「-」方向に使用します。長押しで値が「-10」変化します。
ボタン④	短く押すと[ページ2]に移動し、1秒以上押し続けると[ページ10]に移動します。
ボタン③+④	[メイン画面]を表示します。設定変更があればROMに保存します。保存を行わないと設定した値が反映されません。

ブースト 補正マップ・オフセット 補正マップの設定を行います。



- ① モード選択
カーソルを移動してボタン①で設定するモードを選択・表示します。
- ② 設定軸
カーソルを移動してボタン①で 回転/車速、[スロットル開度][回転/車速+スロットル開度][使用しない Do not use)]を選択します。
- ③ 設定項目
カーソルを移動してボタン①でブースト 補正值、オフセット 補正值を選択します。
- ④ 回転/車速軸格子点(10ポイント)
マップに使用するエンジン回転数/車速格子点を表示 変更します。
- ⑤ スロットル軸格子点(10ポイント)
マップに使用するスロットル開度格子点を表示 変更します。
- ⑥ 補正数値
補正する数値を表示 変更します。

- (1) ボタン②・③でカーソルを移動し、変更したい項目でボタン①を押すと数値入力モードに移行します。
- (2) 選択された項目でカーソルが点滅します。ボタン②・③で数値を変更し、ボタン①で決定します。



-数値入力モード-

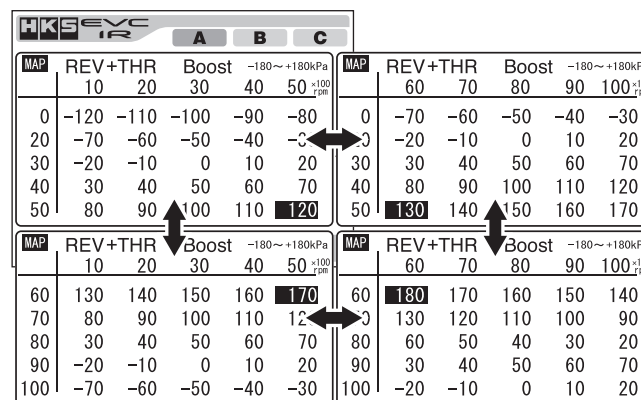
(3 [メイン画面])に戻ると変更がROMに保存されます。

次ページに続く

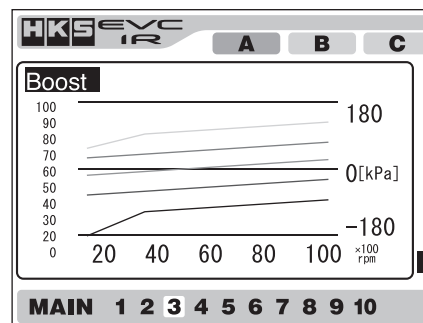
ボタン操作	働 き
ボタン①	各項目の数値入力モードへの移行、および項目の決定に使用します。
ボタン②	短く押すとカーソルが右移動、1秒以上押し続けるとカーソルが左移動します。数値入力モードでは数値の[+]方向に使用します。長押しで値が [+10]変化します。
ボタン③	短く押すとカーソルが下移動、1秒以上押し続けるとカーソルが上移動します。数値入力モードでは数値の[-]方向に使用します。長押しで値が [-10]変化します。
ボタン④	短く押すと [ページ3]に移動し、1秒以上押し続けると [ページ1]に移動します。
ボタン③+④	[メイン画面]を表示します。設定変更があればROMに保存します。保存を行わないと設定した値が反映されません。

アドバイス

- ・補正マップは10×10マスです。ボタン②・③でカーソルを移動することで表示範囲を切り換えます。



補正マップをグラフで表示します。



[ページ2]で表示されている設定軸の数字を表示します。

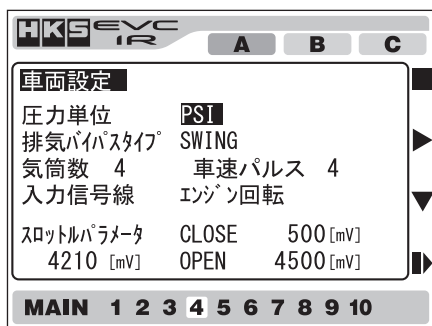
ボタン操作	働 き
ボタン①	使用しません。
ボタン②	表示するブーストモードを変更します。
ボタン③	表示する項目 ブースト 補正值・オフセット 補正值)を変更します。
ボタン④	短く押すと [ページ4]に移動し、1秒以上押し続けると [ページ2]に移動します。
ボタン③+④	[メイン画面]を表示します。設定変更があればROMに保存します。保存を行わないと設定した値が反映されません。

[ページ4][ページ5]で初期設定を行います。

初期設定は車両特性を判断するための重要な設定です。また、A・B・C各ブーストモード制御の基本となります。

注意

- 必ずエンジンが停止した状態で設定してください。
- 初期設定時[ページ4]の項目を変更した際は、走行する前にボタン③、ボタン④を同時押しし、設定を一度保存してから以降の設定を行ってください。
設定を保存せず走行した場合、車輛 エンジン破損のおそれがあります。



- ・圧力単位
圧力単位を kPa [PSI] から選択します。

- ・排気バイパスタイプ
排気バイパスタイプを SWING アクチュエータ式 [POPEX ウェストゲート式] から選択します。

アドバイス

- ・Y 32系セドリック/グロリア/シーマは16パルス、その他の日産車は2パルス、その他の国産車は4パルスになります。

- ・気筒数
使用する車両の気筒数を入力します。

- ・入力信号線
マップに使用する入力軸を エンジン回転数、[車速] から選択します。

- ・車速パルス
車速パルスを設定します。

ボタン操作	働 き
ボタン①	各項目の数値入力モードへの移行、および項目の選択・決定に使用します。
ボタン②	短く押すとカーソルが右移動、1秒以上押し続けるとカーソルが左移動します。数値入力モードでは数値の [+] 方向に使用します。長押しで値が [+10] 変化します。
ボタン③	短く押すとカーソルが下移動、1秒以上押し続けるとカーソルが上移動します。数値入力モードでは数値の [-] 方向に使用します。長押しで値が [-10] 変化します。
ボタン④	短く押すと [ページ5] に移動し、1秒以上押し続けると [ページ3] に移動します。
ボタン③+④	[メイン画面] を表示します。設定変更があればROMに保存します。保存を行わないと設定した値が反映されません。



- ・スロットルパラメータ
スロットル信号入力を使用する場合に、スロットル全閉・全開状態での電圧値を記憶させます。オートでの設定とマニュアルでの設定が可能です。

○全閉時スロットル電圧オート設定

- (1) ボタン②③でカーソルを [CLOSE] に移動します。
- (2) スロットルの引っかかりがなく、完全に全閉状態になっていることを確認し、スロットルペダルから足を離してボタン①を押してください。
- (3) ピッと鳴り、スロットル全閉時の電圧が [CLOSE] の横の欄に反映されます。

○全閉時スロットル電圧マニュアル設定

- (1) ボタン②③でカーソルを [CLOSE] の横の数字に移動し、ボタン①を押すと数値入力モードに移行します。
- (2) カーソルが点滅します。ボタン②③で数値を変更し、ボタン①で決定します。

○全開時スロットル電圧オート設定

- (1) ボタン②③でカーソルを [OPEN] に移動します。
- (2) エンジンが停止しているのを確認し、スロットルペダルをストッパーに当たるまで踏み込んでボタン①を押してください。
- (3) ピッと鳴り、スロットル全開時の電圧が [OPEN] の横の欄に反映されます。

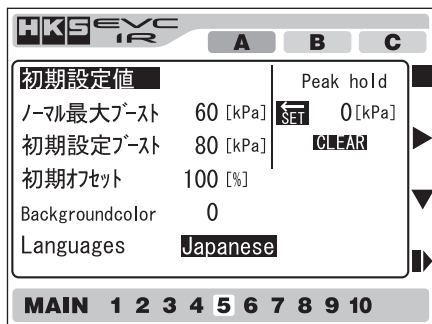
○全開時スロットル電圧マニュアル設定

- (1) ボタン②③でカーソルを [OPEN] の横の数字に移動し、ボタン①を押すと数値入力モードに移行します。
- (2) カーソルが点滅します。ボタン②③で数値を変更し、ボタン①で決定します。

[メイン画面] に戻ると変更がROMに保存されます。

[ページ4][ページ5]で初期設定を行います。

初期設定は車両特性を判断するための重要な設定です。また、A・B・C各ブーストモード制御の基本となります。



- ・ノーマル最大ブースト
ノーマル最大ブーストを設定します。
入力範囲: 0~300kPa (0~43.0PSI)
- ・初期設定ブースト
初期の目標ブーストを設定します。
入力範囲: ノーマル最大ブースト ~300kPa
(ノーマル最大ブースト ~43.0PSI)
- ・初期オフセット
初期のオフセットを設定します。
設定した目標ブーストにならない場合に初期オフセット値を増減させることで、目標ブーストに合わせることが出来ます。
- ・Backgroundcolor
画面の背景色を変更します。(全8色)
- ・Languages
表示する言語を [Japanese(日本語)], [English(英語)]から選択します。

アドバイス

- ・出荷時はノーマル最大ブーストに60kPa(8.7PSI)、初期設定ブーストに80kPa(11.6PSI)がそれぞれ仮入力されています。
- ・ノーマル最大ブースト値と初期設定ブースト値により車両特性を判断しているため、初期設定ブースト値はノーマル最大ブースト値より+10kPa(1.5PSI)以上の差圧を推奨します。
- ・補助機能として [Peak hold]の下に実走行時の最大ブーストが表示されます。この状態でカーソルを [SET]に合わせてボタン①を押すと、ノーマル最大ブースト欄にその数値が移動されます。

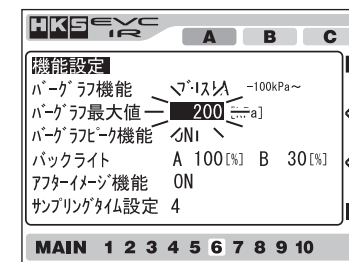
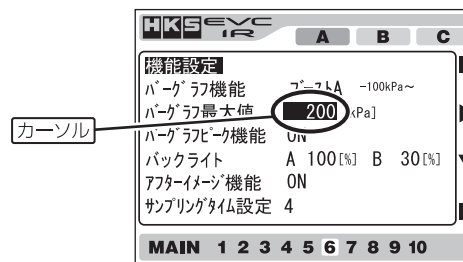
ボタン操作	働き
ボタン①	各項目の数値入力モードへの移行、および項目の選択・決定に使用します。
ボタン②	短く押すとカーソルが右移動、1秒以上押し続けるとカーソルが左移動します。数値入力モードでは数値の [+] 方向に使用します。長押しで値が [+10] 変化します。
ボタン③	短く押すとカーソルが下移動、1秒以上押し続けるとカーソルが上移動します。数値入力モードでは数値の [-] 方向に使用します。長押しで値が [-10] 変化します。
ボタン④	短く押すと [ページ6] に移動し、1秒以上押し続けると [ページ4] に移動します。
ボタン③+④	[メイン画面] を表示します。設定変更があればROMに保存します。保存を行わないと設定した値が反映されません。

[メイン画面] の表示機能の設定を行います。



- ・バーグラフ機能
[メイン画面] のバーグラフで表示するデータを設定します。
- ・バーグラフ最大値
バーグラフで最大となる値を設定します。
- ・バーグラフピーク機能
バーグラフでのピークを表示するか選択します。バーグラフが下降する時、その時表示していた最大値が1マス残ります。ブースト圧を表示している際は正圧がかかっていた時のみ表示されます。
- ・バックライト
[メイン画面] の輝度を設定します。[メイン画面] でボタン③を押すことで設定した輝度に変更できます。車両のライト ON/OFFには連動しません。
- ・アフターイメージ機能
ブーストが正圧から負圧になった時に、その時かかっていた最大ブースト圧をデジタル表示(大)に点滅表示(3秒間)するか選択します。
- ・サンプリングタイム設定
通常は設定する必要はありませんが、ハンチングの発生などでブーストが安定しない場合に変更してください。初期状態では、4が設定されています。

- (1) ボタン②・③でカーソルを移動し、変更したい項目でボタン①を押すと数値入力モードに移行します。
- (2) 選択された項目でカーソルが点滅します。ボタン②・③で数値を変更し、ボタン①で決定します。

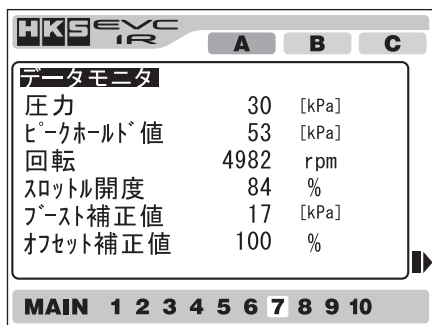


-数値入力モード-

- (3) [メイン画面] に戻ると変更がROMに保存されます。

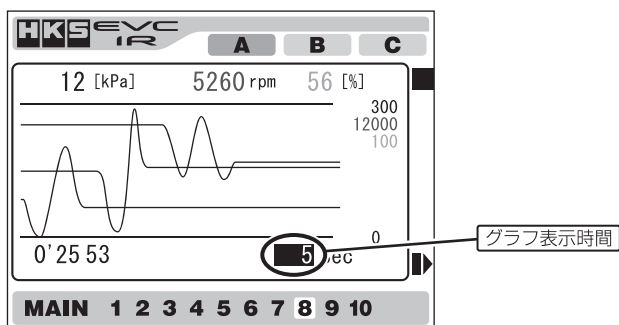
ボタン操作	働き
ボタン①	各項目の数値入力モードへの移行、および項目の決定に使用します。
ボタン②	短く押すとカーソルが右移動、1秒以上押し続けるとカーソルが左移動します。数値入力モードでは数値の [+] 方向に使用します。長押しで値が [+10] 変化します。
ボタン③	短く押すとカーソルが下移動、1秒以上押し続けるとカーソルが上移動します。数値入力モードでは数値の [-] 方向に使用します。長押しで値が [-10] 変化します。
ボタン④	短く押すと [ページ7] に移動し、1秒以上押し続けると [ページ5] に移動します。
ボタン③+④	[メイン画面] を表示します。設定変更があればROMに保存します。保存を行わないと設定した値が反映されません。

現在の各種データを数値で表示します。



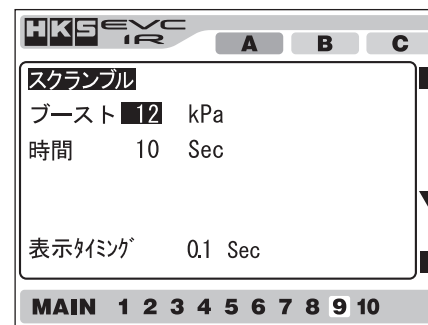
ボタン操作	働 き
ボタン①	使用しません。
ボタン②	表示するブーストモードを変更します。
ボタン③	使用しません。
ボタン④	短く押すと ページ8]に移動し、1秒以上押し続けると ページ6]に移動します。
ボタン③+④	[メイン画面]を表示します。設定変更があればROMに保存します。保存を行わないと設定した値が反映されません。

各種データをグラフで表示します。ボタン①を押すとグラフ表示時間を変更できます。



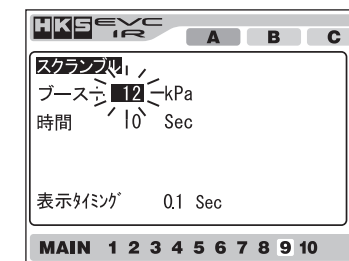
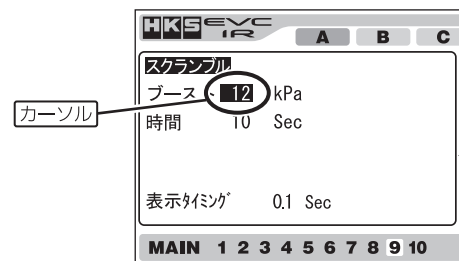
ボタン操作	働 き
ボタン①	グラフ表示時間を変更します。
ボタン②	使用しません。
ボタン③	表示を消去し、0秒から新しく表示を開始します。
ボタン④	短く押すと ページ9]に移動し、1秒以上押し続けると ページ7]に移動します。
ボタン③+④	[メイン画面]を表示します。設定変更があればROMに保存します。保存を行わないと設定した値が反映されません。

スクランブルブーストの設定を行います。



- ・ブースト
スクランブル作動時に目標ブーストにプラスする値を設定します。
- ・時間
スクランブル作動の時間を設定します。
- ・表示タイミング
[メイン画面]のデジタル表示 (大・小)、車速/エンジン回転数表示、スロットル開度表示の数値描画速度を設定します。

- (1) ボタン②・③でカーソルを移動し、変更したい項目でボタン①を押すと数値入力モードに移行します。
- (2) 選択された項目でカーソルが点滅します。ボタン②・③で数値を変更し、ボタン①で決定します。

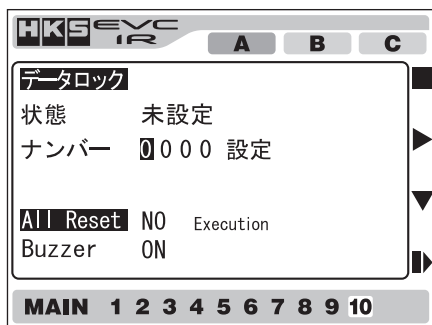


-数値入力モード-

- (3) [メイン画面]に戻ると変更がROMに保存されます。

ボタン操作	働 き
ボタン①	各項目の数値入力モードへの移行、および項目の決定に使用します。
ボタン②	数値入力モードで数値の +]方向に使用します。長押しで値が +10]変化します。
ボタン③	短く押すとカーソルが下移動、1秒以上押し続けるとカーソルが上移動します。数値入力モードでは数値の -]方向に使用します。長押しで値が -10]変化します。
ボタン④	短く押すと ページ10]に移動し、1秒以上押し続けると ページ8]に移動します。
ボタン③+④	[メイン画面]を表示します。設定変更があればROMに保存します。保存を行わないと設定した値が反映されません。

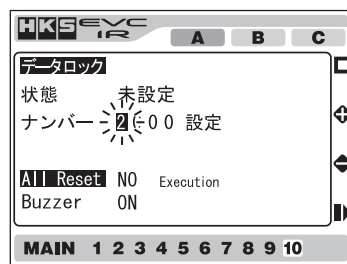
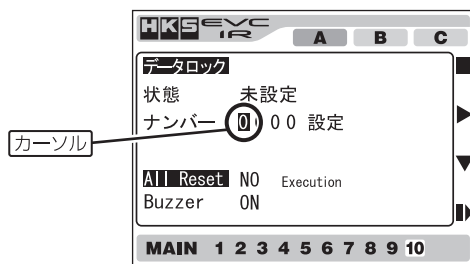
各設定値を変更したくない時に暗証番号を設定して、データロック機能を使用することができます。



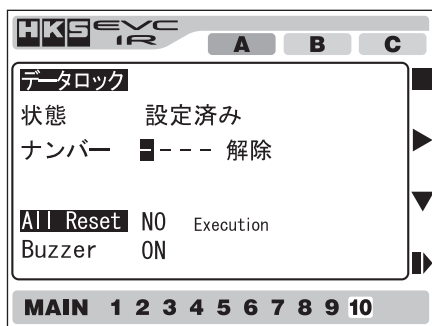
- ・状態
データロックがかかっているかどうかを表示します。
暗証番号が設定されている時は「設定済み」と表示され、ナンバーの欄が「-----」と表示されます。
- ・ナンバー
暗証番号を入力します。未設定の場合「0000」と表示されます。

○データロック機能を使用する場合

- (1) ボタン②③でナンバーの各数字にカーソルを移動し、ボタン①を押すと数値入力モードに移行します。
- (2) 選択された項目でカーソルが点滅します。ボタン②③で数値を変更し、ボタン①で決定します。
- (3) 暗証番号を決定し「設定」にカーソルを移動し、ボタン①を押すとナンバーの欄の表示が「-----」となり、状態の欄が「設定済み」と表示されます。



-数値入力モード-

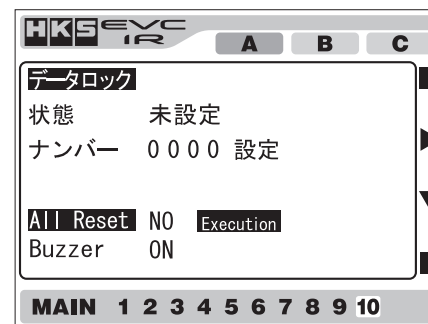


○データロック機能を解除する場合

- (1) ボタン②③でナンバーの各数字にカーソルを移動し、ボタン①を押すと数値入力モードに移行します。
- (2) 選択された項目でカーソルが点滅します。ボタン②③で数値を変更し、ボタン①で決定します。
- (3) 正しい暗証番号を入力した後「解除」にカーソルを移動し、ボタン①を押すとナンバーの欄の表示が「0000」となり、状態の欄が「未設定」と表示されます。

アドバイス

- ・暗証番号が設定されている時は[ページ2]の設定値が「-----」となり[ページ3]および[ページ4]の車両設定項目が非表示となります。また、機能設定ページ [ページ6]以外の設定値変更ができません。それ以外の設定値を変更する場合は、データロック機能を解除する必要があります。
- ・暗証番号を忘れてしまった場合は、下記の「All Reset (オールリセット)」にてリセットを行ってください。ただし、リセットを行うと記録されている設定値がすべてクリアされますので、どうしても設定した暗証番号が分からなくなってしまった時にのみ行ってください。



- ・All Reset
[NO]にカーソルを合わせボタン①を押すと、[YES]に変わります。その状態で「Execution」を選択・決定することで、記憶されている全ての設定値を初期状態にし[ページ4]を表示します。

アドバイス

- ・初期設定をやり直す場合や、暗証番号を忘れてしまった場合にリセットを行ってください。
- ・Buzzer
ボタン操作時に音を鳴らすかどうかを設定します。
[OFF]にしてもスクランブル作動時、ワーニング作動時の警告音は鳴ります。

ボタン操作	働 き
ボタン①	各項目の数値入力モードへの移行、および項目の決定に使用します。
ボタン②	短く押すとカーソルが右移動、1秒以上押し続けるとカーソルが左移動します。数値入力モードでは数値の「+」方向に使用します。
ボタン③	短く押すとカーソルが下移動、1秒以上押し続けるとカーソルが上移動します。数値入力モードでは数値の「-」方向に使用します。
ボタン④	短く押すと「ページ1」に移動し、1秒以上押し続けると「ページ9」に移動します。
ボタン③+④	「メイン画面」を表示します。設定変更があればROMに保存します。保存を行わないと設定した値が反映されません。